

# 二丈中学校だより「真理」(まこと) 第8号

校訓 自主 共感 健康

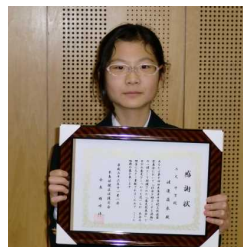
めざす学校像「人にやさしい 自然にやさしい はずむように学び合う学校」

糸島市立二丈中学校 平成26年11月18日(火) (文責 校長 坂本美紀子)

## 第14回糸島市中学校文化連盟発表会開催

11月1日(土)に、糸島市「教育の日」『第14回糸島市中学校文化連盟発表会』が開催されました。本校からは、ステージ発表の部では、吹奏楽部の演奏、伊都郷土美術館では美術部の作品を展示しました。また「社会を明るくする運動」意見発表では、1年生の渡邊萌衣さんが、「思いやれる世界に」という題で発表しました。内容・態度共に実に素晴らしい発表でした。

### 「思いやれる世界に」 1年 渡邊萌衣



私たちの身の回りには、誰もが暮らしやすくするための工夫がたくさんあります。例えば、駅の階段の手すりやエレベーターの表示といった目の不自由な人のための工夫です。他にも点字ブロックなどもよく見かけます。最近「バリアフリー」という言葉について知りました。体の不自由な人や高齢者の人が生活を営む上で支障がないように作られたものをいうそうです。調べてみると、いろいろな工夫がされていて施設まであってすごいと思いました。また、これなら誰でも安心して町を歩けるのでいいなあとも思いました。それから数日後、家族で電車に乗って出かけた時、歩道で点字ブロックを見つけました。その点字ブロックの隣に自転車が止められていました。点字ブロックの上にも何台も止められていました。自転車だけではなく、コーヒークップやペットボトルなどのゴミもたくさん捨てられていました。歩道の真ん中にもありました。歩行者の人たちは、歩きにくそうによけて歩いていました。小さな子どもは、ゴミを飛び越えながら歩いていました。目が不自由でない人は「ここにゴミがあるからよけてこっちを通るようにしよう」と考えます。でも、目の不自由な人にとっては、ここが危ないと認識することは難しいことだと思います。もし、自転車などの障害物にぶつかってしまえば危険だし、点字ブロックがないと安心して歩行することができません。ゴミを捨てた人や自転車を歩道に止めていった人は何気ない気持ちだったかもしれません。でも、その何気ない行動は、目の不自由な人やたくさんの歩行者の人たちなど、自分以外の人のことを考えたとは言えない行動だと思います。町も施設もたくさんの人が利用する公共の場所だからこそ、たくさんの人のことを一人一人が考えて行動するようにできれば、誰もが安心できる社会になっていくと思います。誰か一人だけがマナーに気をつけ、自分の周りに手をさしのべても、小さな力にしかありません。でも、それぞれ一人ひとりがこの社会の一員であることを自覚し行動できれば大きな力に変わると思います。また、施設などのバリアフリーの工夫をたくさんしても、その施設などの利用をしやすいうように気を配らない限り体に障害のある人や高齢者の人の本当の安心は生まれません。一人一人が考えなければならぬからこそ、私もできることからしていきたいと思っています。自分のことだけ考えたりしないで、相手のことや自分の周囲にいる人たちのことも考えてから行動できるように意識していくようにしたいです。また、意識をするだけではなく、点字ブロックの上に物を置かないようにしたり、電車では優先席に座らないようにして実行したいです。そして、いつか子どもも障害を持っている人も高齢者も、お互いを思いやって暮らしていくことのできる社会に変えていくことができれば、本当の「バリアフリー」や優しさが生まれていくと思います。

## 「平成26年度スポーツ功労者賞受賞」木原裕香さん 浦正樹君

11月3日(月)に「平成26年度糸島市自治功労者等地域活動振興奨励者表彰式」が行われ、本校3年の木原裕香さんと2年の浦正樹君が「スポーツ功労者賞」を受賞しました。受賞理由は、木原さんが「第32回世界バトントワーリング選手権大会」フリースタイルペアジュニア部門において優勝し世界一となった功績、浦君が「精鋭杯世界選手権大会」(少林拳)において2度世界一となった功績に対するものでした。2名もの受賞者を出したことは、二丈中生全員の誇りです。この快挙に大きな拍手を贈ります。



## 平成26年度全国学力・学習状況調査・福岡県学力実態調査の結果

1学期に実施された、全国学力・学数状況調査及び福岡県学力実態調査の結果について報告いたします。この調査は、義務教育の機会均等と水準向上のため、全国並びに福岡県の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、学習指導や学習状況の改善を図るために実施するものです。

なお、この調査は学力の一部を調査するものであり、この調査結果をもって児童生徒の学力を評価するものではありません。あくまで学習指導や学習状況の改善に役立てることが目的です。

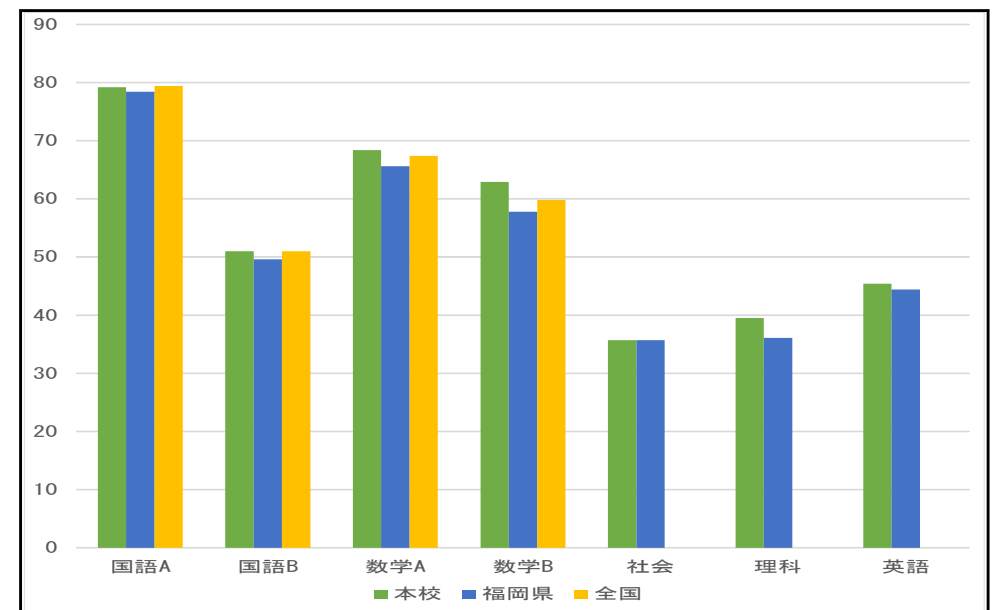
現在本校では、この調査結果を分析し、日常の授業改善や生徒指導等の取組の強化を図っているとところです。保護者におかれましても、この結果を踏まえ、家庭学習の習慣等、家庭で出来ることを実践していただきたいと思います。

### 1 調査児童生徒数

■ 第3学年 生徒83人

### 2 教科に関する調査の結果

(1) 全国、福岡県と本校の平均正答率の比較



### 3 生徒の学習状況に関する調査の結果

(1) 自校の概況

#### 本校の状況

【肯定的な回答が全国値よりも高い主な項目】

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 自分に良いところがあると思う。
- 将来の夢や目標がある
- 家の人、授業参観や体育祭などの学校行事に来てくれる。
- 家で学校の宿題をする。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げて、うれしかったことがある。
- 1, 2年生の時に受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動を良く行った。

【肯定的な回答が全国値よりも低い主な項目】

- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらい勉強しますか。
- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。

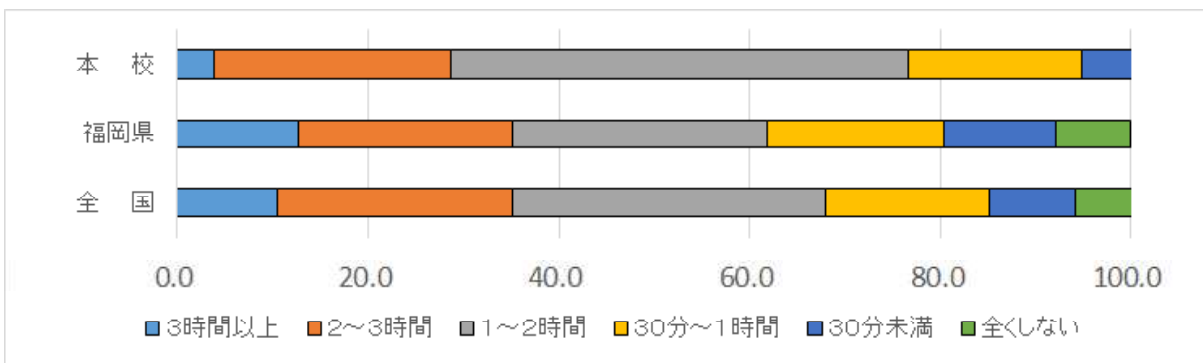
(2) 自校の特徴的な項目

① 家庭学習

問：「学校の授業時間以外に普段（月～金）、1日にどれくらいの時間勉強しますか。」

選択肢	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	全くしない
本校	3.9	24.7	48.1	18.2	5.2	0.0
福岡県	12.6	22.5	26.8	18.5	11.8	7.7
全国	10.4	24.7	32.8	17.3	9.0	5.9

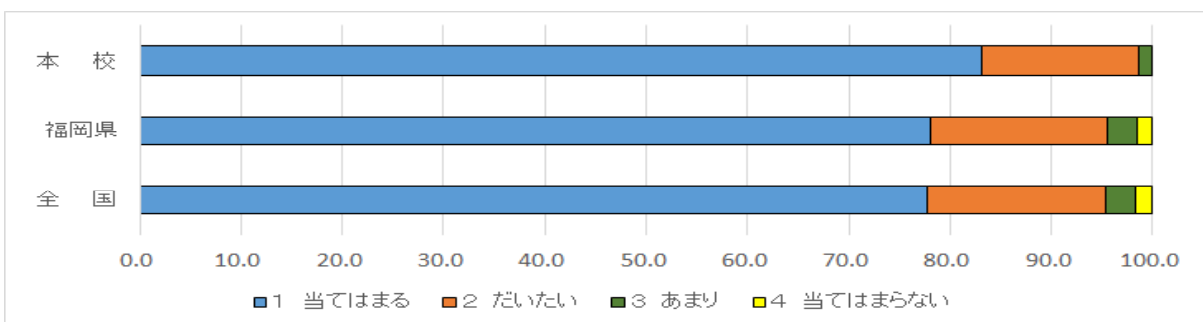
- ・1時間以上勉強している生徒は、76.7%で、全国平均より8.8ポイント高い。
- ・2時間以上勉強している生徒の割合は6.5ポイント低い。



② 規範意識

問：「学校のきまりを守っていますか。」

	1 当てはまる	2 だいたい	3 あまり	4 当てはまらない
本校	83.1	15.6	1.3	0.0
福岡県	78.0	17.5	3.0	1.5
全国	77.8	17.5	3.0	1.6

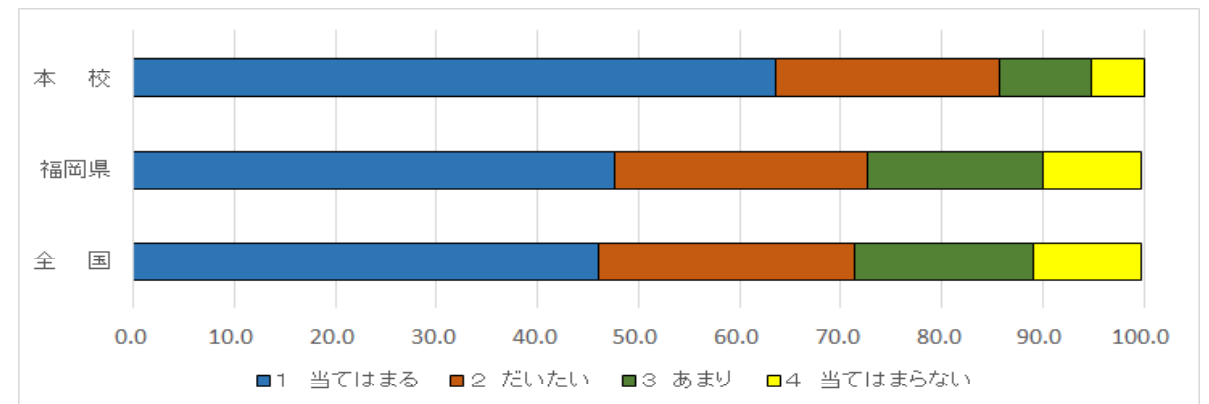


- ・規範意識については「学校の決まりを守っている」の割合は全国平均と比較して、16.7ポイント高く、概ね守っている生徒を含めると93.5%と高い割合である。

③ 進路

問：「将来の夢や目標を持っていますか」

	1 当てはまる	2 だいたい	3 あまり	4 当てはまらない
本校	63.6	22.1	9.1	5.2
福岡県	47.7	24.9	17.4	9.8
全国	46.0	25.4	17.7	10.6



- ・将来の夢や目標を持っている生徒の割合は63.6%と全国平均より17.6ポイント高い。

4 自校の学力向上の取組の評価

(1) 効果があった取組

- ・学び合い学習を取り入れた授業改善
- ・授業規律の徹底（授業五原則）
- ・毎日の家庭学習の取組
- ・指導工夫改善教員等を活用した習熟度分割授業の実施（国語、数学、英語）
- ・勉強合宿等による学習力強化の取組
- ・生徒会活動による定期考査対策学習プリントの作成
- ・帰りの会に於いて毎日のドリルによる補充学習
- ・朝読書での毎週金曜日を「新聞の日」としてコラム等を読む取組
- ・二丈中シラバス「羅針盤」活用の取組

(2) 改善を図る点

- ・家庭学習の内容の充実
- ・家庭学習時間の充実
- ・説明力・表現力を高める授業改善

5 今後の学力向上に対する取組

- ・家庭学習の充実・発展。「家庭学習のすすめ」（改訂版）の作成及び細やかな指導
- ・地域人材を取り入れた補充学習会の充実